

警察の調査では、住宅などに侵入する窃盗犯は、窓ガラスの錠の周辺を破損し、そこから手を入れて錠を開けて侵入する手口が最も多いそうです。

警察庁や国

土交通省が民間団体と共同

防犯ガラスで侵入盗防止

試験で破壊されませんでした。「網入りガラス」

してガラスの防犯性能を調査するため、ガラスの打ち破り実験を行ったところ、2枚のガラスの間に強固な特殊中間膜をはさんだ防犯ガラスは、ボールで7回打撃

を加えても錠を開けるほどの大きな穴ができず、高い防犯性能を示しました。「防犯フィルム」（ポリエステル）を5mmのガラスに2枚全面貼りしたのも同様の試験で破壊されませんでした。と「強化ガラス」は簡単に破壊され、住宅の侵入盗対策として防犯ガラスの有効性があらためて証明されました。

防犯一口メモ